

# NPO法人若者就職支援協会 広報第六号

## Young Employment Support Association (略称YES)

### 代表 挨拶



NPO法人若者就職支援協会  
理事長 森智洋

若者就職支援協会（略称YES）代表の森智洋です。そろそろコロナ禍も終わりが見えるような中、いかがお過ごしでしょうか。

YESもコロナ禍での活動3年目を迎えました。昨年度はキャリア教育授業も不織布マスク着用とクラスごとの個別授業等の対応により感染防止対策をしながら授業を行っておりました。

授業の回数は昨年度で28回とコロナ以前に近い状態まで

○発行日…令和四年七月三日(日)  
○発行…NPO法人若者就職支援協会  
東京都足立区綾瀬4-9-18  
○発行人…森智洋

戻ってきております。クラス個別の授業がほとんどなくなってきている中、実際の授業を中心に運営するMCの育成が大きな課題になってきております。

また昨年度より始まった相談事業も順調に進んでおります。相談員の募集、育成から実際の相談業務を実施することも出来ております。当初はオンライン通話での相談のみを考えておりましたが、チャットでの相談案件も寄せられていくことから、新たにチャットでの相談講習会を行い、案件に対応しております。新年度より2人の新理事も加わり現在の課題に対応できるように体制を強化しております。

野中美木子理事はMC育成を担当しています。野中理事はキャリア教育授業でのMCのリーダーとして協会講師のレベルアップに取り組んでいます。

鬼澤高教理事は相談事業を担当しています。鬼澤理事は昨年の相談事業の立ち上げ時から事業の中心となって新事業に邁進しています。

新理事を加えました新体制をよろしくお願いいたします。

また後半の記事で紹介しますが、新たに協会のYouTubeチャンネルができました。情報発信が多岐にわたりが人々に届くのが分からなくなってきた時代です。協会の新たな情報発信としてご期待ください。

新年度より高等学校内に設置されている「校内カフェ」にもボランティア派遣をして

おります。「校内カフェ」とは学校内に設置された生徒のたまり場です。生徒の孤立を防ぐ効果が期待されています。高校生の生の声が聞ける貴重な機会を大切にしていきます。

当協会は困っている人と、それを助けた人を結ぶ社会的インフラを目指して活動しております。今後とも皆様から御支援ご協力をよろしくお願いいたします。





## 新役員挨拶

新理事 野中美木子



この度、理事に就任しました野中美木子と申します。私が若者就職支援協会の高校での出張授業に携わる様になって、早4年が経ちます。きっかけは2017年国家資格キャリアコンサルタント取得の為に通っていた学校にピンチヒッターで黒沢一樹さんが講師としていらした事でした。今までの講師と違い、クロちゃんの魅力に惹きつけられました。クラスメートの1人がYESの活動に参加し、ボランティアの人数が足りない

の声で足を踏み入れました。

定時制高校では、初めは生徒にどう話しかければ良いのかさえ分かりませんでした。回を重ねる内に、クロちゃんの「ムチャぶり」によりMCデビューを果たしました。企業で研修講師を務めている私にとって、そんなに難しい事ではないと思っていました

が、高校生を惹きつけ、思いをしつかり伝えることの難しさを日々痛感しております。

お陰様で生徒達に鍛えられ、クロちゃんやシンゴちゃんの様には行きませんが、自分のMCスタイルを身に付けつつあります。より多くのメンバーの皆さんがMCを務め、スキルアップに繋げて頂きたいです。そのため微力ではありますがありますが、協会の理事として色々な支援をしていきたいと考えております。どうぞ皆様よろしくお願い致します。

## 新理事 鬼澤 高教



この度、理事に就任しました鬼澤高教と申します。

23年間、エネルギー関連の

会社員として、総務・人事・経理・法務等のバックオフィスを中心に勤めていました。

約2年前に退職してしばらく長い夏休みを過ごす中で、

創業者の黒沢一樹氏と出会い、そこからキャリア教育授業に参加して来ました。また、

1年前にYESが相談活動事業を再開することになり、事業部長を担当しております。

協会での活動以外では、転職希望者さんを支援する職業

紹介業をしながら、別で学生や若者を中心に相談をお受けしています。

元々、前職で管理職となった時に「個人やチームがどうやったら力を発揮出来るのだろう：」「自己流だけでは限界ある：」「そんな想いから自己啓発の本を読み始めました。そしてコーチングを学ぶために外部研修に参加して、仲間と勉強会を繰り返し、セミナーに参加して、実践を繰り返してきました。

やって行くうちに若者が生き生きと働く姿を応援したいと強く思うようになりました。現在は高校生の心に響く授業は難しいなと思いつつも、何か機会になればと前向きに考えて授業に臨んでおります。

少しでもお役に立てるよう尽力いたします。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



## YES YouTube チャンネルについて

### YES YouTube チャンネルディレクター

戸松 マド

皆様こんにちは。YesのYouTubeチャンネルのディレクターをしている戸松マドでございます。

YouTubeチャンネルが三月に開設、『ネガポジヒストリー』という動画を公開中です。ゲストをお招きして『ネガティブ体験』『コンプレックス』をネガポジ先生と黒沢先生がインタビューをして、その体験や経験を振り返った時に「あの時どうすればよかった」など気づいたことを若者に伝え、ゲストの失敗を若者たちの成功へと導く（みちび）く動画です。

現時点で公開前を含めても両手で余る本数ですが収録に立ち会い、編集をしている身としては人生の先輩方の語る

失敗やコンプレックスは正に『生の声』でした。大人というのは何でも知っている、偉そうにしている、子供の気持ちかわからないということを感じがちです。そんな大人たちも沢山の失敗をして、後悔して、反省して今を生きている、そんな『生の声』でした。

「失敗をおそれるな」という言葉を子供に向けても、右から左へ通り抜けますが、この動画は『その理由』を教えてくれます。言葉そのままに例えるなら『カッコ悪い大人たちが人生をかけて伝えたいこと』なのかもしれません。



## ネガポジヒストリー

今後の抱負や展開として何も考えていません。黒沢理事とは「百本動画をあげよう！」とだけ話をしていきます。一般的な「？」をコンセプトにして「ではゲストにはこういう内容を語っていただいて？」という進行や台本は一つもないです。いわば相撲のように語り手（ゲスト）と聞き手（黒沢氏）と取組の瞬間を私は一瞬を逃さずにカメラを回します。真剣に勝負をしているからこそ生まれる台本のない『生の声』『表情』『反応』を若者だけに留まらず、家族、学校関係者、国境を超えた人たちにも動画を見てもらいたいと思っています。

百本動画を作るということは百人のゲストが必要となります。協会に参加している方にも語ってもらいたいです。が、なかなか手を上げる人が少ないのが現状です。これまでの動画を見て「ここまで語れない：」「私にはそんなエピソードはない」と及び腰になっていると思います。それらはもしかしたら思い込みかもしれません。ネガティブ体験、コンプレックスを全世界に公開となれば一考するのにも無理はないと思います。けれども失敗があるから今のあなたが存在します。一度『カッコイイ大人』の荷を下ろして、『カッコ悪い大人』になってみませんか？きっと新しい景色が見えると思います。チャンネル登録もよろしくお願います。

「ネガポジヒストリー」  
で検索して下さい。





定時制高校での校内カフェ  
若者との継続的かわりを  
求めた先

YES 創業者・理事  
黒沢 一樹

創業者のネガボジ先生こと黒沢です。

「若者と継続的なかかわり方はできないだろうか・・・」

私の頭の中でいつもこの言葉が駆け巡っていました。そんな中、創業当時からお付き合いであり、私たちが定時制高校を専門とするキツカケになった松本先生の異動先の高校での出来事が頭に浮かびました。川崎市にある高津高校では、学校内に「カフェ」を設置して運営しており、生徒の授業前・授業後の居場所となっていました。

「これだ！」

すぐさま、校内カフェを運営するNPO法人アスリードの代表である武政さんにアプローチ。団体連携を提案し活

動に参加させていただくことにしました。夕方16時に集合して22時までの時間が「校内カフェ」の時間です。とはいながらも、生徒は授業があり、第一部は18時くらいまで、第二部は授業終わりの21時くらいから22時までの時間が実際の実施時間です。

今、弊会メンバーも参加いただいております。徐々に生徒たちに顔を知られてきています。生徒との時間には何をしているかというところ、ボードゲームやウノなどで遊ぶだけでなく、フードパントリーの機能も併せもっており、毎回飲み物やお菓子、ときには野菜・果物なども配布しています。生徒が気軽に立ち寄ってもらえるための仕掛けでもあります。

また、協賛企業でもある美容師の方に来ていただき、生徒のヘアセットやメイクなどをおこなったこともあり、大



変盛況な会となりました。

少しずつではありますが、生徒の悩みに対応する機会も増えており、私たちが実現したいことができている状況です。

【生徒たちとは卒業後も関わり応援し続けたい：】

そう思いながら毎回活動しています。一緒に活動したい方や応援したい方・企業様は、ぜひ、団体メールフォームからご連絡ください。お待ちしております！

○川崎市立高津高校

川崎市高津区久本3-11-1  
JR武蔵溝ノ口駅、東急田園  
都市線溝ノ口駅 徒歩七分

第一部16時～18時

第二部21時～22時

一部のみ二部のみ参加可

団体メールフォーム



ご支援ご協力をお願い

授業ボランティアの確保に苦心しております。皆様のご協力をお願いいたします。

また、ご寄付でのご支援もお待ちしております。千円でボランティアを一名授業に送り出せます。

メールでご連絡ください。

info@syusyoku  
shien.com